

社会医療法人 同愛会 博愛病院

博愛すまいるん

Enjoy Smile Up!

27

秋号 2022

Free
magazine

教えてドクター

腰部脊柱管狭窄症

整形外科医長 根津明菜医師

チーム紹介

整形外科 チーム

同愛会リンク

介護老人保健施設 やわらぎ



HAKUAI NEWS

- AI技術を活用した胸部X線画像病変検出支援システム導入
- 新型コロナウイルスワクチン 3・4回目追加接種予約受付中
- インフルエンザワクチン予防接種 予約受付中
- クラウドファンディング挑戦中
- 外来診療担当医師変更

外来診療担当医師 一覧表 2022年10月～

整形外科チーム

私たちが整形疾患のリハビリテーションを
支えています



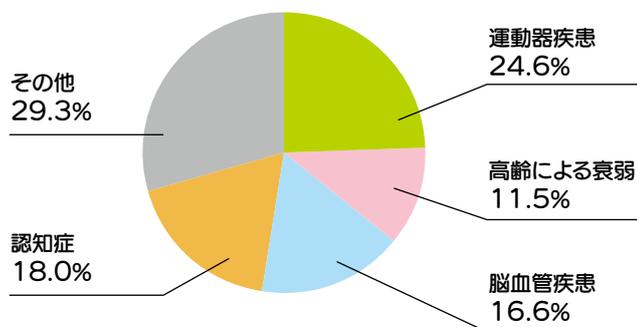
スタッフ:理学療法士4名、作業療法士1名

■整形外科チームについて

皆さん、整形外科と聞いてどんなことを思われますか？骨折？膝の痛み？肩の痛み？そもそも整形外科とはなんでしょうか。わたしたちが思うように手足を動かして、自由に行動できるのは、全身に行きわたる筋・骨と神経のおかげです。それらの機能を回復させ、維持することが整形外科の大きなテーマだと考えています。

2019年の国民生活基礎調査（厚生労働省）によると要介護認定者は脳血管疾患や認知機能の低下を有する対象者が多くを占めていますが、骨折・転倒、関節疾患を合わせると整形外科疾患が要介護認定を受ける割合として高いことがわかります。今後も2025年問題を抱え、骨折・転倒の対象者が増加することが予測されます。

要支援・要介護になった原因



骨折の受傷は予期せぬ一瞬の出来事ですが、その瞬間を境に、強い疼痛をはじめとした身体的苦痛のみならず、安静や固定による活動制限や社会参加への困難による身体的苦痛が患者を待ち受けており、受傷を契機に、それまで当然のように営まれていた日常生活から一転して多大な負担を余儀なくされます。その後のQOL低下を招くばかりか生命予後にも深刻な影響を及ぼします。日常生活を維持するためには、全身管理を含めた総合的な観点からリハビリテーションを実施することが必要になります。

そこで、整形外科チームでは骨折、関節疾患の方に対して、入院生活や退院後の生活をよりよく過ごして頂けるように環境調整や指導、助言を行っています。

■整形外科チームの役割

- 術後管理の確認と指導・提言
 - ポジショニングの提案、助言
 - 禁忌肢位についての指導
- 早期離床と病棟ADLの確立
 - 医師、看護師、リハビリでの情報共有の橋渡し
 - 治療方針の立案
- 医師に安静度・負荷量の確認
- 退院に向けた方針の確認と検討
- 早期退院、社会復帰の援助

■整形外科チームの活動内容

- 整形ラウンド: 抜き打ちチェック(月1回)
- 回診: 週2回(火曜日、水曜日)



当院の整形外科疾患を有する患者さんに対してのリハビリテーションも痛みの軽減や早期退院・社会復帰を目指して介入しています。そのため骨折患者の治療に際しては、安静・固定期間をいかに短縮し、可能な範囲で早期からリハビリテーションを開始することが重要と考えています。

整形外科チームとして、現状の課題やリハビリテーションの経過、今後の方向性などを医師、看護師、リハビリテーションスタッフが専門知識を生かし、様々な治療・退院支援を提案させて頂いております。

staff interview

メンバーの 安田さんに聞きました



理学療法士
整形外科チームリーダー

安田明生

【聞き手】
理学療法士 副主任
整形外科チーム

加藤寿輝



患者さんが1日でも早く社会復帰できるよう寄り添います

加藤：リハビリテーションの数ある分野の中で整形外科チームに従事しようと思ったきっかけは何ですか。

安田：まず自分と整形疾患について話したいのですが、一番はじめは学生時代の実習先で整形疾患に携わる機会が多く興味を持つ最初のきっかけになりました。その後、当院に就職したのですが、15年前の就職当時は人工関節の手術件数が非常に多く、整形外科医師や先輩理学療法士に指導してもらいながら多数の症例を経験させて頂いたことで整形疾患への造詣が深くなり、個人的に運動器認定理学療法士の資格も取得しました。



最近では内部障害の患者様が増え、反対に整形疾患の患者様が減少傾向で整形疾患に興味がある自分としては心寂しいですが、整形疾患のリハビリテーションの質を落とさずとずっと感じていたため、整形外科チームを通して今まで学んだ知識と技術を還元しようと思いました。

加藤：整形外科チームの活動の中でやりがいを感じたことは何ですか。

安田：整形疾患の急性期のリハビリテーションや看護では腓骨神経麻痺や深部静脈血栓予防など術前後の管理が非常に重要となります。

そこで、術前後の合併症ゼロを目指し、掲示物による注

意喚起と月1回の整形ラウンドを行うようになってから術前後の合併症予防を徹底できたことです。

加藤：整形外科チームで現在取り組んでいることは何ですか。

安田：整形疾患のリハビリテーションの特徴として経験と技術の差が出やすい領域だと思います。リハビリ担当者の経験年数や専門分野の違いが患者様の身体状態やリハビリゴールに反映されやすいです。

そのため、どのリハビリ担当者でも質の高いリハビリテーションを提供できるように新人教育での技術伝達や勉強会での知識向上に取り組んでいます。



加藤：整形外科チームの意気込みについて一言。

安田：『山陰一のリハビリテーション部』が当院リハビリテーション部の目標です。リハビリテーションの対象疾患は多岐にわたりますが、その中の整形外科領域のリハビリテーションを責任をもって管理していきたいです。

腰が痛い、膝が痛いなどの整形疾患でお悩みの方がおられましたら整形外科外来へご相談ください。

教えてドクター

教えてドクターでは
当院の医師が病気や健康情報を
わかりやすく解説します。



整形外科医長

根津 明菜

Nezu Akina

久留米大学 平成21年卒

【主な所属学会と資格】
・日本整形外科学会（専門医）



腰部脊柱管狭窄症

■腰部脊柱管狭窄症とは

腰部脊柱管は、5個の腰椎といくつかの靭帯や椎間板という組織でつながっています。また、第2腰椎より下の部分では、神経は馬の尻尾のようになり、馬尾と呼ばれます(図1)。この馬尾神経は、それぞれの腰椎で左右1対ずつ枝分かれしており、神経根と呼ばれています。背骨の中の空間(脊柱管)にある馬尾神経の背側には、背骨を結びつける黄色靭帯と呼ばれる組織があり、上下の腰椎を支えています。黄色靭帯は加齢とともに石灰化や肥厚という変化が生じてきますが、これらの変化が強くなると脊柱管が相対的に狭くなり、馬尾神

経が圧迫されるようになります。このような周囲組織の退行性変化が生じた結果、下肢や会陰部に痛みやしびれなどの何らかの症状が生じたりするのが、腰部脊柱管狭窄症と呼ばれるものです(図2)。

図1

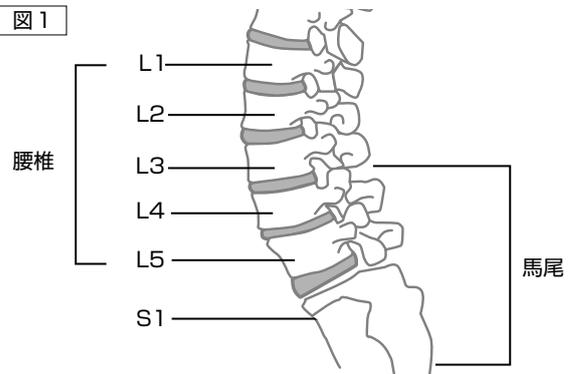
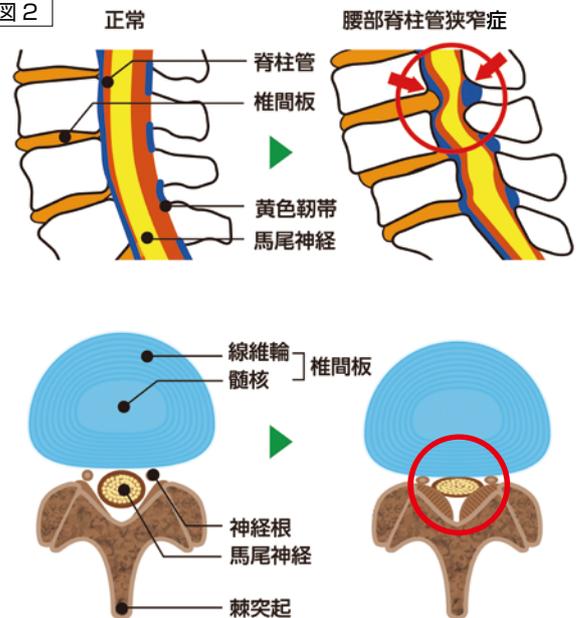
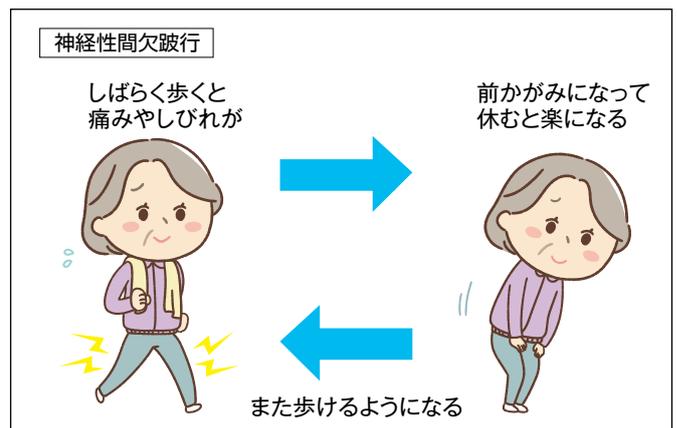


図2



腰部脊柱管狭窄症の特徴的症狀として神経性間欠跛行があります。この自覚症状は歩いて初めて出現するもので、症状により歩行と休息を繰り返します。歩行や直立の姿勢を継続すると悪化してしまい、腰を前に曲げて休むと



脊柱管が広がるため下肢症状が軽減、消失します。
年代別には50歳代を境に加齢とともに増加します。

■病態

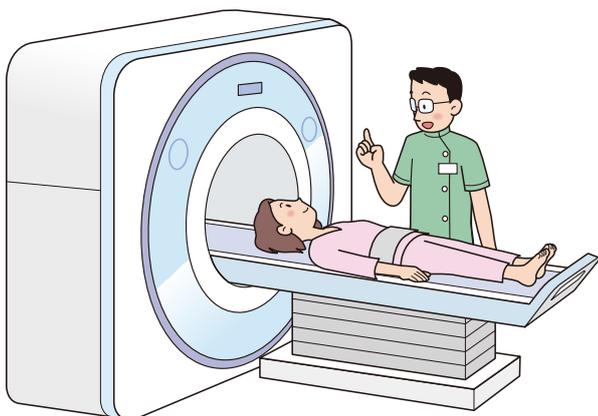
腰部脊柱管狭窄症では、神経組織を周囲組織が圧迫し、髄液の還流不全や神経組織の血流障害が起こります。その結果、神経組織の栄養不全が発生して症状が生じると考えられています。

■分類と症状

機能的分類として、脊柱管狭窄の特徴的的症状とされている神経性間欠跛行は、歩行により生じる自覚症状と他覚所見から3型に分類できます。自覚症状として、①馬尾型・下肢や臀部のしびれ、膀胱直腸障害(排尿、排便の障害)、下肢脱力感、あるいは性功能不全 ②神経根型・下肢や臀部の疼痛 ③混合型・①と②の合併障害を生じます。

■検査

X線、MRI検査、骨性評価にはCT検査などを行います。



■治療

症状が高度ではなく、日常生活での支障があまりない場合にはまずは薬物治療を行います。馬尾神経の血流改善を目的とした内服薬として、プロスタグランジンE製剤や、末梢神経の状態を改善する目的でビタミンB12が用いられます。

神経根型の場合は、疼痛が主な症状で、保存的加療での効果が見込まれるため、まず薬物治療を行います。疼痛が強い場合には神経ブロック療法を行うこともあります。疼痛に対する薬物には、消炎鎮痛剤のほか、神経障害性疼痛治療薬(プレガバリンなど)を使います。馬尾型は神経根型と比べると保存的治療の効果が低いとされています。

数か月内服しても効果が不十分で、症状が持続して生活に支障がある場合や、症状が進行する場合には、手術的治療が考慮されます。

高度な症状が持続していると、神経自体がもとに戻らない変化(いわゆる不可逆性変化)が生じ、手術を受けても神経症状の回復が期待通りにならない場合も少なくなく、高度な麻痺や安静時の足底部のしびれなどは、なかなか改善されないことが多いです。

腰や足の痛み、しびれなど、下記に示すような症状はありませんか？

- しばらく歩くと下肢(太ももからふくらはぎやすねにかけて)のしびれや痛みが出て歩けなくなり、少し休むと治まってまた歩けるようになるため、歩いたり休んだりすることを繰り返す(神経性間欠跛行)
- 立っていると下肢のしびれや痛みがひどくなる
- 前かがみになったり座ったりするとラクになる
- 後ろに反る体勢がづらい
- 腰痛はそれほど強くないが、下肢の痛みやしびれがづらい
- しびれや痛みは足の両側にある
- 痛みはあまりないがしびれがづらい
- 歩くのはつらいが自転車には乗れる
- 下肢に力が入らない
- おしりのまわりにしびれやほてりがある
- 便秘、頻尿、尿もれ、残尿感など、排便・排尿障害がみられる

このような症状がみられたら、「腰部脊柱管狭窄症」かもしれません。

■最後に

痛みの度合いがそれほど強くないからといって放置していると、病気が進行し日常生活に支障をきたすこともあります。気になる痛みやしびれなどの症状がある場合は、整形外科外来を受診してください。



参考文献: 神中整形外科学、日本脊髄外科学会より



介護老人保健施設における 管理栄養士の役割

介護老人保健施設やわらぎ
管理栄養士 中井 貴代

管理栄養士というと皆さんは「献立を考え、栄養価を計算している人」とイメージされるかもしれませんが、実はそれだけではなく、専門的な知識と技術に基づいて、食事を摂る人の心身状態に合わせた栄養指導や栄養管理、給食管理などを行う専門職です。今回は介護老人保健施設における管理栄養士の役割をご紹介します。

はじめに介護老人保健施設(老健)について簡単にご説明します。介護を必要とする高齢者の自立を支援し、家庭への復帰を目指すために、医師による医学的管理の下、「看護・介護・リハビリテーション」を中心に栄養管理・食事・入浴などの日常サービスまで併せて提供する施設です。介護老人保健施設での管理栄養士の主な役割は大きく二つに分けることができます。献立作成などを行い、食事を提供する給食管理業務とご利用者が栄養状態の維持、改善を図り、自立した日常生活を営むことができるように一人一人に合わせた栄養管理を計画的に行う栄養ケアマネジメント業務があります。

給食管理業務

委託している給食会社と協力して献立作成から食材発注・調理、ご利用者の身体状況に合わせた調理方法を考えて、軟菜食、きざみ食、ミキサー食などの食べやすい形態の食事やご利用者の病状に応じた療養食を提供し、日々の検食、残食の確認、嗜好調査などを実施し、献立内容や調理方法などを厨房職員と検討を重ねています。

食形態と療養食

一般食	<input type="checkbox"/> 普通食	療養食	<input type="checkbox"/> 糖尿食
	<input type="checkbox"/> 軟菜食		<input type="checkbox"/> 心疾患食
	<input type="checkbox"/> 刻み食		<input type="checkbox"/> 腎臓食
	<input type="checkbox"/> 超刻み食		<input type="checkbox"/> 肝臓食
	<input type="checkbox"/> ミキサー食		<input type="checkbox"/> 貧血食

介護老人保健施設の入所期間は一般的に三ヶ月とされています。必要な栄養を過不足なく提供することはもちろんですが、一日三食のお食事を飽きずに楽しめるような献立を考える必要があります。ひな祭りのちらし寿司や敬老の日お祝い膳、クリスマスケーキなどの行事食や自分で選ぶことのできる選択食や駅弁風の弁当などのイベント食を催して、食が細くなりがちな高齢者の食べる楽しさや食べる意欲を引き出すことも管理栄養士の仕事です。

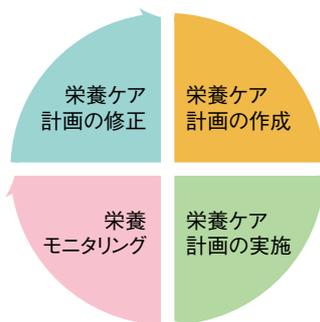
食中毒の発生なく安心して食事摂取できるように厨房内の衛生チェックやマニュアル作成、厨房機器の点検、年に一度施設内職員向けに食中毒の研修も行っていきます。コロナウイルスなどの感染症や地震や水害などの自然災害に備えた準備を行い、どのようなときも食事の提供を止めないことも大切な仕事です。使い捨て食器など必要な物品や水や備蓄食を準備し、非常時には状況を判断し、素早く対応を行い、食事提供を行っていくことが求められます。



栄養ケアマネジメント業務

高齢者にとって最大の栄養の問題は、たんぱく質とエネルギーが不足する低栄養です。たんぱく質とエネルギーは、日常生活を送るために、毎日の食事から摂る必要があります。低栄養状態が続くと、体重の減少や筋力の低下、風邪などの感染症にかかりやすく治りにくい、傷が治りにくいなど身体に変化をもたらす、全身状態が悪化して寝たきりの生活を余儀なくされることがあります。介護老人保健施設ではそれを防ぐために低栄養のリスクのある方を把握し(栄養スクリーニング)、低栄養の状態を客観的な指標(身長、体重、体重減少率、アルブミン値、褥瘡の有無など)に基づき評価し、栄養上の解決すべき課題を把握します(栄養アセスメント)。多職種協働で利用者の個々の状態に合わせた栄養ケア計画を作成します。栄養ケア計画に基づき栄養管理を実施し、定期的に栄養状態の変化を評価し(栄養モニタリング)、これを繰り返していきます。

栄養ケアマネジメントのイメージ図

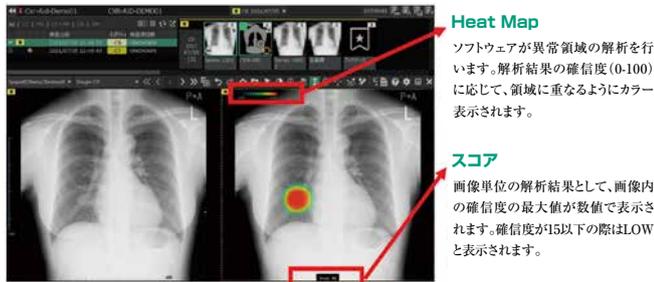


このような栄養ケアマネジメントの実施は令和三年度介護報酬改定では介護老人保健施設などの施設系サービスにおいては「基本サービス」として位置付けられました。

やわらぎでも充実した栄養ケアを多職種協働で行い、ご利用者の在宅復帰のお手伝いできればと思っております。

AI技術を活用した 胸部X線画像病変検出支援システム導入

胸部X線画像を読影する際に小さい結節や腫瘤を見落としなくチェックするためには高い読影力と集中力を要します。今回SDGs(3.すべての人に健康と福祉を 9.産業と技術革新の基盤をつくろう)の取り組みの一環として導入したAI技術を活用した胸部X線画像病変検出支援システム(CXR-AID 富士フイルムメディカル社)では、結節・腫瘤影、浸潤影、気胸が疑われる領域を自動検出しマーキングすることができます。マーキングは確信度に応じた色分けをして胸部X線画像上に表示されます。黄色～赤色に表示されるほど、病変の存在が強く疑われます。この機能は院内全ての電子カルテPCで使用可能であり、今までよりも効率よく読影を行うことが可能となります。このシステムを最大限活用し、より質の高い医療を患者様に提供できるよう努めてまいります。



インフルエンザワクチン予防接種 予約受付中

インフルエンザワクチンの予防接種は予約制です。

予約開始日 2022年10月3日(月)

接種開始日 2022年11月1日(火)

料金 ・64歳以下…4,400円
・65歳以上…公費補助により異なります。

(各市町村から届く案内でご確認ください。)

通院治療中の方

予約受付窓口 各外来診療科

予約電話 29-1100(代)

平日午後2時～4時にお願います

通院治療中以外の方

予約受付窓口 ドック健診センター

予約電話 48-0880

平日午後1時～3時にお願います

※小児科対象の方は、博愛こども発達・在宅支援クリニック(TEL29-8010)へお問い合わせください。

外来診療担当医師変更

令和4年10月1日から外来診療担当医師が変更になりました。詳細は最終ページの外来診療担当医師一覧表をご確認ください。

【変更箇所】

・内科、整形外科、腎臓外科

新型コロナウイルスワクチン 3・4回目追加接種予約受付中

新型コロナウイルスワクチン3回目・4回目追加接種の予約受付を下記のとおり実施いたします。

接種日 令和4年10月19日(水)、21日(金)、26日(水)、28日(金)
11月11日(金)、16日(水)、22日(火)、30日(水)
12月 9日(金)、14日(水)、23日(金)

時間 13時00分～14時15分(15分毎)

備考 1日あたり90名程度

対象 以下のすべての項目に該当される方が対象です。

- ・米子市に住民票のある方
- ・市町村から接種券付予診票が届いた方
- ・接種日の時点で16歳以上の方
- ・コロナワクチン2回目または3回目接種を完了した日から、5か月以上経過した方

予約方法 専用ダイヤルかWeb予約サイトでお申込みください。

専用ダイヤル(0859) 29-1125

予約受付時間：平日 午前9時～午前11時50分

Web予約サイト(24時間受付)



EPARK博愛病院ワクチン接種予約サイト
2次元コード
※WEB予約は、米子市に住民票のある方のみご利用できます。



※1回目・2回目の受付は実施していません。

※ファイザー(BA.1株対応)のワクチンを使用します。今後の薬事承認によっては、ファイザー社BA.4/BA.5株対応ワクチンに切り替わる可能性があります。

※ワクチン供給状況等により、日程、1日あたりの接種人数、ワクチンの種類等を変更する場合があります。

クラウドファンディング挑戦中

社会医療法人同愛会は、重症心身障がい者、医療的ケア者が親亡き後も地域で暮らせるように、2023年夏に医療的ケア対応のグループホームを開業いたします。そして、広くこの事業をご理解いただき、思いを共に分かち合いたいという気持ちから、グループホームに設置する特殊な浴槽を購入するためにクラウドファンディングに挑戦中です。目標は達成しましたが、引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。



資金使途:特殊浴槽 購入費用
第一目標 750万円
第二目標 900万円

支援募集期間 ～2022年10月31日(月)23時まで

プロジェクト実施完了日 いただいたご支援金は、
2023年7月31日までに活用いたします。

ご支援方法

1 Web サイトから支援

→ 2次元コードよりアクセスしてください。

2 インターネットでの申し込みが難しい方

申込書をご提出の上、ご支援金を指定口座へお振込みください。

※お申込書が必要な場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。



お問い合わせ先:社会医療法人同愛会法人本部

〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1880 FAX 0859-29-6322

TEL 0859-29-1100

博愛病院 外来診療担当医師 一覧表

令和4年10月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金	
内科	午前	1 診	ペースメーカー外来 田中 保則 (循環器)	田中 保則 (循環器)	●鳥大医師 (循環器)	田中 保則 (循環器)	田中 保則 (循環器)
		2 診	山本 宗平 (消化器)	浜本 哲郎 (消化器)	安井 翔 (消化器)	山本 宗平 (消化器)	浜本 哲郎 (消化器)
		3 診	足立 晶子 (脳神経内科)	●鳥大医師 (脳神経内科)	足立 晶子 (脳神経内科)	安井 建一 (脳神経内科)	安井 建一 (脳神経内科)
		4 診		松本 栄二 (肝臓)	堀 立明 (肝臓)	松本 栄二 (肝臓)	堀 立明 (肝臓)
		5 診	竹内 龍男 (糖尿病)	竹内 龍男 (糖尿病)	藤岡 洋平 (糖尿病)	竹内 龍男 (糖尿病)	藤岡 洋平 (糖尿病)
		6 診	山本 司生 (呼吸器)	●鳥大医師 (呼吸器)	西井 静香 (呼吸器)	山本 司生 (呼吸器)	西井 静香 (呼吸器)
		7 診			重白 啓司 (総合診療内科)	●鳥大医師(第1,3,5) (総合診療内科・血液内科)	重白 啓司 (総合診療内科)
		8 診	岸本 幸廣 (消化器)				岸本 幸廣 (消化器)
		禁煙外来	休止中				
		午後	予約再来				
小児科	小児リハビリテーション (13時30分～14時30分)	●博愛こども発達・在宅 支援クリニック医師	●博愛こども発達・在宅 支援クリニック医師		●博愛こども発達・在宅 支援クリニック医師	●博愛こども発達・在宅 支援クリニック医師	
外科	午前	1 診	竹本 大樹	山根 成之	近藤/竹本/山根 交代	竹本 大樹	山根 成之
		3 診	近藤 亮	角 賢一	[アミノインデックス外来] 木村 修	近藤 亮	角 賢一
		午後	予約再来				
		ストーマ外来					交代
		乳腺専門 外来 ※午後(14時～15時30分)	午前 角 賢一 午後 工藤 浩史	角 賢一	角 賢一 (新患のみ) 工藤 浩史/ 角 賢一 (新患のみ)		角 賢一 (新患のみ)
腎臓外科	午前	杉谷 篤		杉谷 篤			
	午後	杉谷 篤	杉谷 篤	杉谷 篤	杉谷 篤		
整形外科	午前	1 診	根津 明菜	中村 達彦	根津 明菜	中村 達彦	●奥野 誠
		2 診	山本 吉藏		●鳥大医師 (診療:9時～)	山本 吉藏	根津 明菜
		3 診	●岸本 英彰	三木 純		三木 純	
		人工関節専門外来	山本 吉藏			山本 吉藏	
		骨粗鬆症専門外来	山本 吉藏	中村 達彦		中村達彦/山本吉藏	
	午後	予約再来					
リハビリテーション科	午後	中村 達彦					
産婦人科	午前	片桐 千恵子	石原 幸一	下雅意 るり	片桐 千恵子	石原 幸一	
	午後	下雅意 るり	片桐 千恵子	石原 幸一	片桐/石原/下雅意 交代		
	女性内分泌外来・思春期外来 (14時～16時)					片桐 千恵子 (予約制)	
泌尿器科	午前 (受付:11時まで)		●鳥大医師 (診療:9時30分～)		●鳥大医師 (診療:9時30分～)	●宮川 征男	
眼科	午前 (受付:水曜10時まで 月・火・木・金曜11時まで)	小松 恵子	小松 恵子	小松 恵子	小松 恵子	小松 恵子	
放射線科	午前・午後	中村 希代志/ ●鳥大医師(第1,2)	中村 希代志	中村 希代志	中村 希代志/ ●鳥大医師(月2回)	中村 希代志	
皮膚科	午後 (受付:13時30分～16時)				●鳥大医師 (診療:14時～)		
救急科	午前			●鳥大医師			
ドック健診センター	1 診	鶴原 一郎		鶴原 一郎		鶴原 一郎	
	2 診		工藤 浩史	工藤 浩史	工藤 浩史		
	3 診	木村 修	木村 修		木村 修	木村 修	

※内科、外科、整形外科の午後は原則、予約再来ですが、救急、紹介患者さんにつきましては従来通り対応しています。
●は非常勤医師です。 各診療科とも、緊急手術等のため休診となる場合がございますので、事前にお電話等でご確認ください。

受付・診療時間	午前	午後	お問い合わせ
受付時間	8時00分～12時00分まで	14時30分～16時50分まで	〒683-0853 鳥取県米子市両三柳1880番地
診療時間	8時30分より	15時00分より	TEL(0859)29-1100(代)